

# 宮崎地本だより



発行元  
自衛隊  
宮崎地方協力本部

編集  
広報渉外室  
宮崎県宮崎市東大淀  
2丁目1-39

## 平成29年度自衛官採用試験始まる！

自衛隊宮崎地方協力本部は、九月一六日から一般曹候補生第一次試験（県内七会場）、自衛官候補生採用試験（男子）（同六会場）をはじめ、逐次県内の会場において、平成二九年度の本格的な自衛官採用試験を開始しました。受験者は受付を済ませると自分の席に座り、気持ちを落ち着かせて試験に臨んでいました。終了後には、試験に全力を尽くしたよう



であり、安堵の表情を見せていました。

今年度も、各学校の進路指導の先生方との募集中の連絡会議、県募集相談員の方々の連絡会議を通じて自衛隊の募集活動を説明してきましたが、全国的な募集対象者の減少、雇用情勢の回復傾向に伴う民間企業の求人増加等、厳しい募集環境が続く、志願者数が減少している状況にあります。



受験生を受付を待つ

七、八月の募集期間中、各出張所長等の適切な指導の下、広報員は担当地域内を早朝から夜遅くまで身を粉にして募集する等努力もさることながら、貴重な情報をお寄せ頂いた募集相談員の皆様、学校の進路指導の先生、並びに協力諸団体の皆様のご協力を賜り、募集を継続している状況に対して紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

宮崎地方協力本部は、体験搭乗、艦艇広報等のイベントの実施により自衛隊の真の姿を理解してもらい、引き続きあらゆる手段を通じて自衛官募集を行い、優秀な若者が自衛隊に興味を持ち、志願そして入隊していただくように地域と密着した募集に精進努力していく所存です。

最後に、関係協力団体の皆様には、引き続き募集活動へのご理解を賜りますと同時に、自衛隊及び宮崎地方協力本部に対する温かいご支援とご協力をこれからもよろしくお願ひ申し上げます。

## 西部航空方面隊司令官が宮崎地本を訪問

九月二六日、航空自衛隊西部航空方面隊司令官（井筒俊司空将）が、宮崎地方協力本部を訪問されました。

本部に到着後、本部長、副本部長、各課長等及び宮崎地本に勤務する航空自衛官六名の出迎えを受け、その後会議室において本部長による宮崎県の特長、協力団体の概要、宮崎地方協力本部の沿革、編成等及び隊務運営状況、募集援護業務等の状況説明を実施しました。



広報官との意見交換会

司令官は現在の厳しい募集環境を確認され宮崎地本に対し「積極的に協力する」とのお言葉を頂きました。

また宮崎地本勤務の航空自衛官六名との意見交換会に際しては、予定の時間を過ぎるなど部員の意見に対して熱心に耳を傾けられるとともに、募集におけるアドバイスを頂き、「何かあったら意見を挙げてくるように」と募集の第一線で活躍する航空自衛官に配慮される一面もありました。



その後、本部長以下地本部長との記念撮影を行い、次回の表敬先へ向け、宮崎地方協力本部を後にしました。

## 第8音楽隊巡回演奏会

九月二三日、宮崎市民文化会館において「第8音楽隊巡回演奏会」が開催されました。

この演奏会で様々な趣向のもとに演奏会が進行され、県内の高校生との特別共演として、日章学園高等学校吹奏楽部が演奏会に参加しました。会場では、「マモルくん」「カケルくん」が来場したお客さんを入り口フロアで出迎え、記念撮影に当たったり、音楽隊の部員数名が楽器を演奏し、入場した方々が開演を待つまでの時間を和ませました。



来場者を出迎えるカケルくん

第一部では音楽隊の後に、日章学園吹奏楽部が演奏し、その後音楽隊と吹奏楽部の共演で楽曲を演奏して来場者からたくさん拍手を頂いていました。休憩をはさみ、第二部では音楽を食物に見立て、音楽隊長が扮するシェフによって、フルコース仕立ての六曲を、前菜、メイン、デザートという演奏構成でお客さんに楽しんでいただきました。

ときおり会場からは笑いが沸き起こり、大いに盛り上がりつつありました。終演後には会場のエントランスで「マモルくん」と「カケルくん」に見送られて、来場者は満足そうに会場を後にしていました。



日章学園の生徒とともに「敬礼！」



# 予備自衛官招集訓練を 実施しました

九月二十九日から十月三日の間、えびの駐屯地（第24普通科連隊）において、今年度二回目となる予備自衛官招集訓練が実施され、熊本地本所属の予備自衛官十名を含む七十九名が出頭して各種職務訓練・教育等のほか体力検定が実施されました。



西部方面總監頭彰受賞者

宮崎地本は永年勤続表彰及び服務教育を担当し、永年勤続表彰では副本部長が西部方面總監頭彰（二名）、本部長表彰（六名）をそれぞれ伝達しました。

永年勤続表彰での本部長式辞の代読において、「今回の表彰及び頭彰は予備自衛官としての任務を全うされた功績を称える

とともに職場の上司や同僚、さらにはご家族のご理解とご協力の賜物として、支援していただいた方々への感謝の意を表すものである。また民間企業等での勤務が生活の基盤である中で、毎年招集訓練に参加していることに對して、深く敬意を表す。との謝辞が伝えられました。



座学を受講する参加者たち

宮崎地本は永年勤続表彰及び服務教育を担当し、永年勤続表彰では副本部長が西部方面總監頭彰（二名）、本部長表彰（六名）をそれぞれ伝達しました。



本部長表彰受賞者

今回の出頭した予備自衛官へのアンケート結果において「充実した有意義な訓練ができました。」「規律正しい生活を送れました。」「次回の訓練も楽しみにしています。」「宮崎地方協力本部との連携が、招集訓練への出頭意欲をさらに高めるため今後とも招集部隊との連携を綿密にして出頭率向上に繋げていきたい。



息ピッタリ!「よさこいメンバー」

展示終了間際には、会場のイベントで行われた「よさこい」の女性チームの方々が来られ、制服を試着し陸自車両の前で記念撮影をするなど大いに楽しんでいました。



艦内食堂にて笑顔で夕食

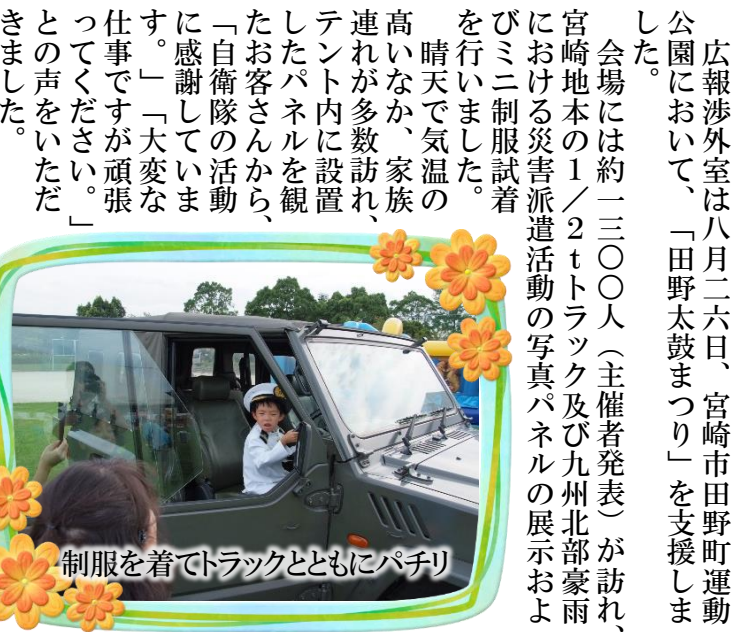


宮崎地本は永年勤続表彰及び服務教育を担当し、永年勤続表彰では副本部長が西部方面總監頭彰（二名）、本部長表彰（六名）をそれぞれ伝達しました。

# 日向高校職業夢講座

九月九日日向地域事務所は、日向高校の二年生に對して行われた「職業夢講座」に参加しました。講座には、各種公務員、資格保有者、会社社長等、二六種類の職種の方々が参加し学生にそれぞれの職種の説明等を行いました。日向所の受け持った教室では、保護者一名、教諭一名、学生一名（一年生九名、二年生一〇名）が訪れ、日向所長が自衛隊についての概要や、職種について説明するとともに、「職業選択の過程」「仕事のやりがいや厳しさ」「社会で要求される能力やマナー」等を講話し、学生も興味を持って話を聞いていました。

# 田野太鼓まつり ひなたフェスティバル



制服を着てトラックとともにパチリ

広報渉外室は八月二六日、宮崎市田野町運動公園において、「田野太鼓まつり」を支援しました。会場には約一三〇〇人（主催者発表）が訪れ、宮崎地本の1/2tトラック及び九州北部豪雨における災害派遣活動の写真パネルの展示およびミニ制服試着を行いました。晴天で気温の高いなか、家族連れが多数訪れ、テント内に設置したパネルを観たお客さんから、「自衛隊の活動に感謝しています。」「大変な仕事ですが頑張ってください。」「との声をいただきました。また、九月九日に宮崎市こどもの国で行われた「ひなたフェスティバル」を都城駐屯地第43普通科連隊とともに支援しました。

# 輸送艦「くにさき」で宿泊体験

十月二十日、日向市細島港に輸送艦「くにさき」が入港し、翌日の二十一日に艦艇広報を行いました。また、艦艇広報と同時に都城駐屯地43普通科連隊より軽装甲機動車と高機動車、偵察用オートバイが来場し車両展示を行いました。天候に恵まれない状況でしたが、来場者三八六名が訪れ艦内の公開や車両展示を楽しんでいました。また夕刻より学生一八名に對して、体験宿泊を実施しました。夕食では配膳時にカレーを大盛りにする学生などがいて、艦内食堂から笑いがあふれていました。カレーを食べた参加者から「すごくおいしい。」「前から食べたかったのだから、参加出来てよかった。」「などの声が聞かれました。夕食後は、慣れない手つきでそれぞれにベトナムキングを行いました。



都城駐屯地からの支援車両

入浴後には食堂において、海自隊員への質問時間となり、学生より艦内生活や護衛艦での職種などの問いかけに隊員が親切に答え、学生は真剣に話に耳を傾けていました。

# 臨時勤務お疲れ様でした

## 臨時勤務を終えて

延岡出張所 1等海士 甲斐 小浪

延岡出張所への臨時勤務を通して感じたことは、地本の仕事は部隊とは違い部外の方と交流する機会が多くあることでした。特に、学生に対し自衛隊の良さを説明する際に、どのように説明すれば解りやすく、そして興味を持ってもらえるかなど色々工夫していると感じました。

普段の仕事の中で、陸上自衛隊や航空自衛隊の方々と勤務することがないので、海上自衛隊以外の多くの事を知ることができました。時に今回の勤務場所では、陸上自衛官が多く、海上自衛隊とは違った生活や業務などの話を聞くことができました。今回の勤務の中では、学校訪問や地域の方々との交流を通じ、海上自衛隊のPRや私の職種である航空機整備の紹介を沢山させて頂いた成果を挙げる事ができました。今後は、臨時勤務で学んだことを活かして部隊でも頑張りたいと思います。

長いようであつという間の三か月であり、たくさんの方に会え、ご指導いただき、充実した勤務を送ることができました。大変お世話になりました。



## 臨時勤務の所感

日向地域事務所 海士長 石黒 敬太

私が今回の臨時勤務を通じて感じたことは、広報官とは幅広い仕事をしているのだなということでした。

私は今まで広報官という仕事は、事務所に来た入隊志願者に志願票を書いてもらい、各高校に自衛隊の説明会を行うくらいだと認識していませんでした。

しかし、事務所勤務してみると私の認識とは違うものでした。入隊希望者本人だけでなくご家族等へ丁寧な説明を行い、自衛隊の仕事に関する不安の払拭に努める募集要項や自衛隊の処遇等を自宅まで訪問して一人一人に対し手厚く接していました。

また、地域行事に積極的に参加し、自衛隊の任務及び行動に関する広報活動も実施し理解を深めていきました。特に椎葉村における防災訓練に参加した際、防災担当部隊の協力のもと、災害における自衛隊の活動状況や自衛隊が実際に使用する機材等の説明を行い、地域の方にも自衛隊に慣れ親しんでもらうための様々な工夫をしていました。その他、一人でも多くの人に自衛隊の良さを知ってもらうために協力団体との連携が重要なのだと感じました。

広報官は協力団体との連携のもと自衛隊に興味のある方の情報を共有することにより、円滑な募集広報ができるのだと感じました。広報官の幅広い仕事に対する責任、協力団体との連携があるからこそ今の自衛隊が成り立っていることを知ることができました。自分にとつては、地域行事に参加することで、その町の特性や、生活、今まで住んできた故郷の事をより深く知ることができ、故郷に対する興味、愛着が持てるようになったことが私にとって大きな経験であり、自衛隊と地域は密接な関係であることも学びました。



な募集広報ができるのだと感じました。広報官の幅広い仕事に対する責任、協力団体との連携があるからこそ今の自衛隊が成り立っていることを知ることができました。

自分にとつては、地域行事に参加することで、その町の特性や、生活、今まで住んできた故郷の事をより深く知ることができ、故郷に対する興味、愛着が持てるようになったことが私にとって大きな経験であり、自衛隊と地域は密接な関係であることも学びました。

臨時勤務で学んだことを活かして部隊に貢献できるよう、より一層努力しようと思いました。お世話になった家族や職場の方々、支援してくださった協力団体の皆様方、本当にありがとうございました。

## 臨時勤務を通して学んだこと

小林地域事務所 梅本 浩大

私が六月一日から九月二十九日までの四カ月間、宮崎地方協力本部小林地域事務所での臨時勤務を通して学んだことは、広報員の話の進め方、コミュニケーションの取り方です。

広報員の方々は、毎日必ず人と接します。高校生、大学生、就職活動をしている方など、自衛隊に入ってもらうために自衛隊の魅力や役割など相手が自衛隊に興味を持ってもらえるように解りやすく説明しています。

また、より多くの人と話すことにより知り合う人も増え、その人たちから志願者情報を得たりしています。

私もこれから、もっと人との繋がりを大切に、広報員の話し方など空曹昇任試験などに活かしていきたいです。次に、一般の人と



接する機会が多いので、身なりを綺麗にしておくことです。広報員の方は、家庭を訪問する時、保護者などにも会います。その時に靴が汚れたり、制服にシワがよっていると自衛官はだらしがないと思われると思います。

私も普段から身なりに気を遣うようになりました。学んだことは他にもありますが、私はこの2つの事を部隊に戻ってから自分自身を磨くために必要だと思い、これから様々な試験に向けこの臨時勤務を通して学んだことを活かしていきたいです。

## 飫肥城下まつりを支援

十月十四日、日南地域事務所(所長反頭1海尉)は第四〇回飫肥城下まつりにおいて車両展示及び広報ブースにより一般広報を実施しました。

当日は43普通科連隊の軽装甲機動車及び日南所愛用の1/2tトラックの二台の展示を行い、たくさん親子連れなどで賑わいました。

なかでもミニ制服の試着コーナーは大人気で、着た子供たちは展示車両に乗って記念撮影をしていました。

会場は、子供たちの歓喜の声や笑顔で溢れ、家族の方々も満足されていました。



かわいい笑顔が溢れる会場

### 南極の水贈呈式



九月二二日、(理科の総合的学習の一環として)宮崎市立大宮小学校の四年生一六三名、十月一九日、日向市の財光寺南小学校四、五、六年生二二五名に対し「南極の水贈呈式」を行いました。贈呈にあたり、大宮小学校では植村本部長が、財光寺南小学校では中尾日向地域事務所長が、児童に対し南極大陸の歴史や水のでき方、南極観測船「しらせ」



南極の水を手渡す本部長

の活動について説明しました。多くの児童から「どうやって持ち帰ったのか。」「水は溶けないのか。」「南極に何人いったのか。」「等の興味を持った質問に、大宮小学校では本部長や「しらせ」元乗員の部員が、財光寺南小学校では日向所長が丁寧に答えました。南極の水に触れる体験では、氷の感触を確かめたり、コップに入れた水に耳を近づけ、水が溶けるとき気泡が弾ける音を聞いた児童から、「パチパチ音がする。」「という声が上がりました。贈呈式のあと児童から、「南極の水の不思議がよく分かりました。」「いつか南極に行ってみたい。」「と感想が多数ありました。児童達は、普段できない体験ができて喜んでいました。



財光寺南小からお礼が届きました

### まつり宮崎を支援しました



八月一九日から二〇日に開催された「まつり宮崎」を航空自衛隊新田原基地第5航空団広報、海上自衛隊佐世保総監部広報(ブルー・マリン)とともに支援し祭りを盛り上げました。オープンングセレモニーでは、開会宣言の後に、新田原基地所属のF-15J三機によるオープニングフライトが行われ、宮崎県最大の祭りが始まりました。会場の働く乗りもの広場に第5航空団の軽装甲機動車を展示、宮崎地本はブルー・マリンと共同で自衛隊広報ブースを設置し、ミニ制服の試着コーナーと南極の水を展示して市民の方々に直接触れてもらうとともに募集活動を実施しました。猛暑の中、両日合わせて一八万人(主催者発表)が来場し、自衛隊広報ブースへは約四〇〇〇人が訪れ、南極の水に触れて涼をとるとともに、二、三万年前の空気を感ずる家族連れや、ミニ制服を試着して軽装甲機動車の前で記念撮影を行う人たちが賑わいました。



まつりを盛り上げた部員たち

来場者から、「この水はどのようにして持ち帰ったのですか?」「自衛隊員で南極に行かれた方がいるのですか?」との質問があり、広報室員やブルー・マリン隊員が丁寧に説明していました。



「南極の水冷た〜い」と喜んでました



### 臨時勤務者紹介

援護課 予備自衛官係 濱脇 菜穂子  
事務官に第一子が誕生いたしました。  
母子ともに健康ということでした。  
おめでと〜ございませす!



こんにちは赤ちゃん

#### 募集課

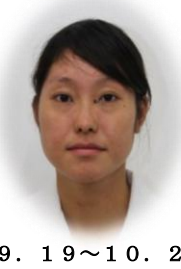
3等陸曹 東崎 浩  
(第43普通科連隊)



9. 1~9. 30

#### 日南地域事務所

海士長 宇賀村 佳代  
(護衛艦 こんごう)



9. 19~10. 27

#### 募集課

3等陸曹 中武力  
(第43普通科連隊)



10. 1~10. 31

#### 援護課

陸曹長 下屋 訓敏  
(第43普通科連隊)



10. 1~  
H30. 3. 31

#### 募集課

1等陸曹 富田 義明  
(第43普通科連隊)



11. 1~11. 20

#### 期間業務隊員

新しい顔  
都城地域事務所  
久徳 康弘



お知らせ  
宮崎地本だより 第53号3面の「臨時勤務者が活躍中」の記事で、小林地域事務所とする記事の表題を、誤って都城地域事務所と誤表記いたしました。訂正してお詫び申し上げます。広報渉外室

### 定年退官

おめでと〜  
ございませす

十月三十一日付  
募集課 募集課長  
1等陸佐 池田 善和

十一月 七日付  
援護課 地域援護センター長  
2等陸佐 鶴野 晃

十一月四日付  
援護課 予備自衛官係長  
2等陸尉 平部 雄

十一月五日付  
援護課 都城援護室長  
准陸尉 宮川 健司



長年お疲れさまでした!



長年にわたる自衛隊勤務  
本当にお疲れさまでした。  
健康に留意され、ご活躍されますことを祈念いたします。